

我孫子市消費者の会

お知らせ

2013年12月18日 第39期 No. 9-450

事務局 〒270-1143 我孫子市天王台3-7-1-201 和田三千代方 TEL 04-7183-1434

<http://www.abikoshi-syuhisyanokai.net/wp/>

バス見学会へご参加を

日 平成26年1月28日(火)
集合時間場所 9時15分 我孫子北口
ふれあい広場前
出発時間 9時20分
行き先 ①雪印メグミルク(株) 野田工場
②野田市コウノトリ飼育場
③かしわで(農産物直売所)

費用 無料

申込み 和田 7183-1434 1月6日まで

野田市でコウノトリを飼育しているのは、たびたびテレビで取り上げられているので、ご存知のことと思います。

消費者の会は自然環境保全も大きな目標にしています。今回コウノトリのために、周辺を無農薬の冬水田んぼにしているという話を聞きましたので、見に行きます。

午前中は、野田市の工業団地にある雪印メグミルクの工場の見学です。国内最大級の大規模自動化工場で、牛乳の他、ジュース類やコーヒー、ヨーグルト等のパック詰め等を見学します。

昼食の場所は今調査中です。従って費用を書きませんが、自己負担は昼食代だけです。ガソリン代等は会から負担します。会員外200円。

申込みは1月6日まで。定例会でも結構です。多くの方のご参加をお待ちしています。

1月・2月の定例会のお知らせ

- ・1月6日(月) 11:00~16:00
 - ・2月3日(月) 13:30~16:00
- 我孫子南近隣センター 8階 調理室
定例勉強会として、1月は「食品表示と食品添加物」の報告。新年会 費用500円
2月は「地方消費者団体フォーラム」

消費生活展のお知らせ

2月8日(土)、9日(日) 10:30~16:30
我孫子市民プラザ ショッピングプラザ3F
「ちょっとした工夫で心ゆたかな暮らし」
消費者の会は「ふだんの食事を防災備蓄に」
くらしを良くする会「牛乳パックで簡単整理」
チラシは来月配布します。

我孫子の廃棄物の現状

我孫子市廃棄物基本問題調査会に、会員の小澤明日美さんが消費者の会からの推薦で参加しています。12月6日に会が開かれた会の主な内容を報告してくださったので、お知らせします。

- ・24年度我孫子市1人1日当たりのごみ排出量は870g(前年より54g減量)
- ・1t当たりのごみ処理原価は36,786円(前年度は34,742円)
- ・1人当たりごみ処理原価11,515円(前年度10,592円)
- ・ごみ分別については、24年7月から放射性物質の影響により、剪定枝木を雑草・落ち葉とともに燃やせないごみに変更したので、資源回収品目は10種16分別になりました。ちなみに全国で最も多いのが14分別です。
- ・生ごみ処理容器等購入補助金制度は引き続き実施しています。
- ・変化とえば、①資源ごみの売却価格が安くなったこと。②ふれあい工房が皆さんの努力で収入が増えたこと。
- ・焼却施設の立て替えについては場所や資金などもまだ、はっきりしていないとのこと。

和田の感想

- ・ 1人1日当たりのごみ排出量は全国平均が975g(23年度)です。我孫子の870gは105g少ないですが、飛び抜けて少ないということでもなくなりました。全国平均が1,000gを切ったのは、景気低迷の影響かとも。ついでに言えば、市民の皆さんがお茶殻を絞って捨てると、数字はかなり減るでしょう。
- ・ 何でもリサイクルをすれば良いわけではありません(これにも費用がかかるため)が、我孫子のリサイクル率は23年度が38.2%。全国平均は20.4%です。我孫子も19年度には42.4%であったことを考えると、くり返し市民啓発が必要なのでしょう。
- ・ 人間が暮らすには、どうしても廃棄物を出すわけです。処理には税金が使われています。これからもより良い施策に、一人ひとりが協力していきましょう。

ちなみに、小澤さんは、我孫子市の資源化率が全国平均より高いという視点から、去年まとめた「我孫子市におけるごみ減量・資源化の成果と課題」というテーマの論文が、東洋大学大学院紀要第49集に掲載されることになったそうです。1月の定例会に持ってきていただくことになりました。

せっけんの共同購入

消費者の会が共同購入しているエスケー石鹸の「うるおい無添加粉せっけん」が、粒子が細かくなって、一層溶けやすくなりました。1.0kgで、540円です。どうぞお申し込みください。7182-7935 中村さんへ。

甘夏の注文を受け付けます

到着は2月の共同購入の日ですが、水俣の無農薬甘夏みかんを今年もお申し込みください。

10kg 2,500円 7182-7935 中村さん

水俣病患者果樹同志会の方からのお便りを転載します。お読みください。

「今年は平年より梅雨が早く終わり、7月～10月の始め頃まで雨が少なかったのでみかん太りに心配致しました。だから今年はちょっと小ぶりです。それから今年のみかんの皮にサビダニの病気がつきました。赤茶色になりみかん

に広がるのできれいな病気です。ひどいのは出荷できないので、だいぶん落としました。そのためみかんの量は去年よりちょっと少なめです。よろしく願い致します。

今年には熊本市、水俣市で水銀条約が行われました。世界139カ国参加で1,000名の方が来られました。水俣を訪れ、水俣病患者さんに会い話を聞かれた世界各国の人は衝撃を受けられ、改めて水銀の恐さを知り、水銀使用0を目指して行かなければいけないと話されていました。

水俣病被害者互助会は今年11月で裁判37回目を迎えました。裁判を始めて7年になります。今、裁判は国から雇われた医者が意見書を出し、反対尋問をしています。4人の中の3人は水俣病患者も知らないし、患者の診察もしたことないし、水俣病の歴史も知らない医者が証人に立っています。私達患者のことを何一つ知らない医者が、ぬけぬけと出てきてしゃべって、本当に強い怒りを感じています。私達は母親のお腹にいる時も被害を受け、生まれてきてからも何十年も何十年もメチル水銀の毒の入った魚介類とは何も知らずに食べました。そしてなりたくもない水俣病になり、何十年もつらい苦しい思いを我慢しながら生き抜いてきました。私達は絶対負けたくありません。応援よろしくお願い致します。」

ともすれば水俣病のことはもう終わった過去のことと思いがちでしょう。農薬被害の原点として忘れないでいたいと思います。

映画会のお知らせ

2月2日(日)に高齢社会への対応を探る会として、「いのちが一番輝く日～あるホスピス病棟の40日」の映画会を行います。

湖北台近隣センター(10:00)とアビスタ(14:00)。各会場50名。申込み必要。無料の予定。裏面にチラシを印刷しました。

～ ～ ～ ～ ～ ～

あつという間に年の瀬を迎えました。

1月には消費者庁の関東ブロックフォーラムを千葉市で開きます。今年はその準備もあり、一層忙しい日々を過ごしました。

1年のご協力に感謝します。

どうぞ風邪を引かず、明るいお正月をお迎えください。

